

目 次

あおぞら

韓国大気環境学会をご紹介します！……………Sunwoo Young

研究室紹介

長崎大学 環境科学部 大気環境植物学研究室

〔学生・若手研究者〕

研究論文(ノート)

バイオモニタリングを用いた大阪市沿道の大気汚染解析
……………三原 幸恵, 村重 陽志, 守口 要, 嶋寺 光, 松尾 智仁, 近藤 明,
松井 敏彦, 原井 信明, 重吉 実和, 世良 耕一郎… 79

〔一般論文〕

研究論文(原著論文)

大気質モデルを用いた2010年度の日本における硝酸塩濃度に対する発生源寄与解析
……………浦西 克維, 嶋寺 光, 斎木 脩平, 松尾 智仁, 近藤 明… 88

研究論文(技術調査報告)

愛知県長久手市におけるPM_{2.5}中の炭素成分と無機イオン成分の日毎連続測定
—2004年度から2014年度の平均値の経年変化と高濃度時の特徴—……………唐澤 正宜, 竹川 秀人… 100

入門講座

「大気環境の気象学」の連載にあたって……………大気環境学会 都市大気環境モデリング分科会… A23
局地大気汚染の気象学……………近藤 裕昭… A24

資料(関東支部講演会講演要旨の抄録)

平成28年度大気環境学会関東支部講演会報告(2017年6月2日開催)
—関東地方における大気環境政策の現状と課題—……………中井 里史… A40
埼玉県における温暖化影響と適応策への取組……………嶋田 知英… A41
次世代自動車・スマートエネルギー特区の取組について……………金澤 哲郎… A45
花火・ヨシ焼きによる汚染影響について……………飯島 史周, 齋藤 由実子, 篠崎 絵美, 石原島 栄二… A48
有機マーカーに着目したPM_{2.5}の動態把握と発生源寄与と評価……………熊谷 貴美代… A50
PM_{2.5}成分の特別観測による高濃度化現象の要因解析……………齊藤 伸治… A53
神奈川県におけるシミュレーションモデルを用いたPM_{2.5}の発生源解析……………小松 宏昭… A55
千葉県におけるPM_{2.5}対策検討調査……………内藤 季和, 市川 有二郎, 堀本 泰秀, 石井 克巳,
大橋 英明, 三田 俊雄, 佐々木 寛介, 宮 由可子, 瀧岡 輝… A57

大気環境学会ニュース

第59回大気環境学会年会のお知らせ(第4報)…………… N37
論理委員会たより…………… N41

支部だより

関東支部 平成29年度支部総会のお知らせ…………… N43
平成29年度支部講演会「有害大気汚染物質のいま」のお知らせ…………… N43
近畿支部 気象拡散部会講演会のお知らせ…………… N43
植物影響部会講演会のお知らせ…………… N43
セミナー「PM_{2.5}化学成分の分析精度の向上」開催報告…………… N44

行政だより…………… N45

CONTENTS

[Blue Sky]

Introduction of Korean Society for Atmospheric Environment (KOSAE)..... Sunwoo Young

[Note]

Analysis of Roadside Air Pollution in Osaka City Using Biomonitoring Method
..... Yukie Mihara, Haruyuki Murashige, Kaname Moriguchi, Hikari Shimadera, Tomohito Matsuo,
Akira Kondo, Toshihiko Matsui, Nobuaki Harai, Miwa Shigeyoshi, Koichiro Sera... 79

[Original Paper]

Source Apportionment of Nitrate Aerosol Concentration in Japan in Fiscal Year 2010 using an Air Quality Model
..... Katsushige Uranishi, Hikari Shimadera, Shuhei Saiki, Tomohito Matsuo, Akira Kondo... 88

[Technical Report]

Daily Continuous Evaluation of Carbonaceous and Inorganic Ion Components of PM_{2.5} in Nagakute, Aichi:
Trends in Annual Mean Values from FY 2004 to FY 2014 and Features of Components
in Extremely High Mass Concentration of PM_{2.5}..... Masayoshi Karasawa, Hideto Takekawa... 100